

# 「道頓堀だるまビル」メディア掲載

9月20日 産経新聞

## 道頓堀に「だるま大臣」



ビル上に巨大像、11月「降臨」

串カツチェーン「串かつだるま」を展開する一門会（大阪市）が、大阪・ミナミの中心部を流れる道頓堀川沿いで建設中の新ビル（高さ約20階）屋上に、高さ約12階の同チェーンの巨大シンボル像「だるま大臣」を設置することが分かった。夜にはライトアップも行われ、道頓堀の newName になりそうだ。

一門会の上山勝也会長兼社長が産経新聞の取材に明らかにした。ビルは11月末に完成予定で、像も同時に設置される。像は台座の上を1時間かけて回転するほか、目から光線を発して道頓堀川に観光客を迎えるメッセージなどを照射する。設置費用は約2億円。

「だるま大臣」像を屋上に設置したビルの完成予想図（一門会提供）

11月26日 京都新聞

## 高さ12階巨大人形「だるま大臣」参上



「串かつだるまのキャラクター」だるま大臣の巨大人形が11月25日午後、大阪市道頓堀、串カツ店ビル屋上に「串かつだるま」を運営する一門会（大阪市）は、キャラクター「だるま大臣」の高さ約12階の巨大人形を、繁華街・ミナミの道頓堀川沿いで新築中の自社ビル屋上に設置した。同社の上山勝也社長兼会長（59）は「この人形をみんなで見たい」と語った。

だるま大臣は上山氏がモデル。11月25日は報道陣などの前で巨大人形の点灯式があった。同社によると12月1日以降、夜間にライトアップされる。

重さは約20トンで、周囲を見回すように回転する。岡山市の会社で作った発泡スチロールの型をもとに、不燃材料で制作した。

帰宅途中に同僚と人形を見に来た大阪府高槻市の会社員桜井景さん（63）は「とても目立って道頓堀らしい。（近々の）『グリラコの看板』と並ぶ名所になる」と期待し、スマートフォンで写真を撮っていた。

11月26日 朝日新聞

## 青鉛筆



▽大阪・道頓堀のビルの上に25日、串カツ店「串かつだるま」のシンボル「だるま大臣」の巨大な像がお目見えした。運営会社の上山勝也会長がモデル。

▽像は高さ12階、重さ約20トンで、回転しながら夜間はライトアップされる。年内は新型コロナウイルス禍の医療従事者に感謝を込め、足元のビルも青く点灯する。

▽目から光線を出す計画だったが、道頓堀川の航行に影響がないか確認できるまで見合わせる。上山会長は「店やミナミの感染対策には目を光らせたいたい」。

11月26日 日本経済新聞

## 道頓堀に12階人形



「串かつだるま」のキャラクター「だるま大臣」の巨大人形（25日、大阪市）

### 「串かつだるま」が設置

大阪の人気チェーン店「串かつだるま」を運営する一門会（大阪市）は26日までに、キャラクター「だるま大臣」の高さ約12階の巨大人形を、繁華街・ミナミの道頓堀川沿いで新築中の自社ビル屋上に設置した。同社の上山勝也社長兼会長（59）は「この人形をみんなで見たい」と語った。

同社によると12月1日以降、夜間にライトアップされる。重さは約20トンで、周囲を見回すように回転する。